

Designing The Future

KDDI

第24期 上半期報告書

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

あなたを見る。
未来を見る。

KDDI

Ubiquitous Solution Company

証券コード 9433





代表取締役社長兼会長
小野寺 正

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

第24期上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業内容等をご報告するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期の連結損益状況につきましては、営業収益は1,734,266百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は249,607百万円（前年同期比8.8%増）、経常利益は252,410百万円（前年同期比11.1%増）、中間純利益は145,738百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

営業収益については、固定通信事業の収入が微減となる一方で、移動通信事業のau携帯電話のご契約数の増加に伴う増収が大きく貢献し、対前年同期比で増収となりました。

営業利益については、移動通信事業は引き続き増益を達成し、固定通信事業の減益を吸収しております。また、有利子負債の削減が着実に進展し支払利息の軽減により、経常利益についても増益となりました。

これにより、中間配当金につきましては、前年同期より500円増配の1株当たり5,000円とさせていただきます。

さて、電気通信業界におきましては、携帯電話市場において、昨年10月の携帯電話番号ポータビリティ(MNP)の導入に加え、総務省から「モバイルビジネス活性化プラン」が公表されるなど、携帯端末、料金、サービス等についてお客様獲得に向けた競争が新たな局面を迎えております。

また、固定通信市場においては、ブロードバンドサービスなどの展開に加え、固定通信と移動通信の融合、あるいは通信と放送の連携、さらに2.5GHz広帯域移動無線アクセスシステム(BWA)の免許方針が示されるなど、事業環境が急速に変化していく中で、お客様獲得に向けたサービス競争が激しさを増しております。

このような情勢のもと、KDDIグループといたしましては、「戦略とスピード」をキーワードに、急速な環境変化や、多様化するお客様ニーズに、迅速かつ的確に対応するとともに、中期的目標として「チャレンジ2010」を策定し「量的拡大」と「質的向上」の両立により成長し続ける企業を目指し、さらなる業容の拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中間連結決算の状況

(単位：百万円)

	営業収益 (前年同期比)	営業利益 (前年同期比)	設備投資額	減価償却費
■ 移動通信事業	1,381,182 (+ 7.6%)	273,331 (+12.6%)	141,121	110,437
■ 固定通信事業	354,589 (△ 2.2%)	△ 29,481 (-)	43,497	56,023
■ その他の事業	71,357 (+37.0%)	5,188 (+69.9%)	6,009	3,017
連 結	1,734,266 (+ 8.1%)	249,607 (+ 8.8%)	190,628	169,202

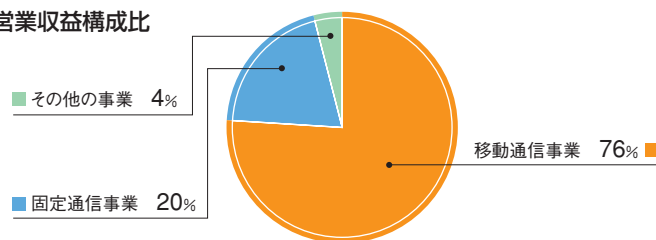
(注) 1. 記載金額は百万円未満の金額を切り捨てて表示しております。
2. 上記の連結は、連結調整等の記載を省略しており、各事業の合計と一致いたしません。

■ 移動通信事業では、au携帯電話での携帯電話端末の新ラインナップの拡充などにより「CDMA 1X WIN」の拡販に努めた結果、「CDMA 1X WIN」のご契約数が増加し、au全体のご契約数の59%に上昇いたしました。この結果、当上半期における営業収益は1,381,182百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は273,331百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

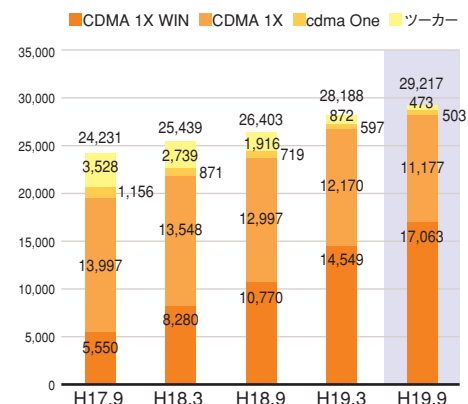
■ 固定通信事業では、当上半期における営業収益は354,589百万円（前年同期比2.2%減）、営業損失は29,481百万円（前年同期比12,730百万円損失増）となりました。営業収益については、前年下半期に社内取引の見直しを行ったこと等により固定通信事業全体で減収となりました。なお、「メタルプラス」の拡販や東京電力株式会社のFTTH事業統合により外部顧客に対する収入は増加しております。

□ これらの結果、当上半期のKDDIグループ連結損益状況は、
営業収益は 1,734,266百万円（前年同期比 8.1%増）
営業利益は 249,607百万円（前年同期比 8.8%増）
経常利益は 252,410百万円（前年同期比11.1%増）
中間純利益は 145,738百万円（前年同期比 7.1%増）となりました。

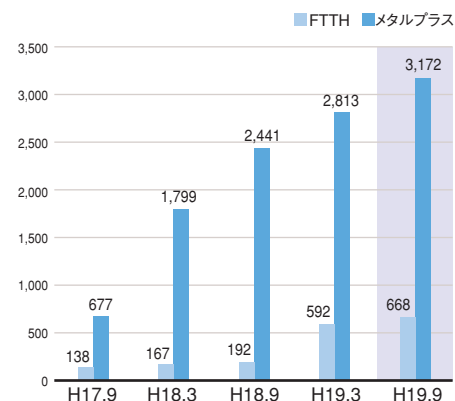
営業収益構成比



移動通信事業 累計契約数 (単位:千契約)



固定通信事業 累計契約数 (単位:千契約)



■ 端末ラインアップ



お客様一人ひとりに新たなライフスタイルの提案をコンセプトにした、au携帯電話の新ラインナップ15機種を本年5月22日に発表し、6月上旬以降順次発売開始いたしました。バスルームやキッチンなどの水回りでも「ワンセグ※」視聴を可能とする「ウォータープルーフ・ワンセグケータイW53SA、W52CA」、515万画素カメラと手ブレ補正モードを搭載した「EXILIM※ケータイ W53CA」、みんなで楽しむ・見て楽しむなど、音楽のあるライフスタイルのバリエーションを広げる約2GB内蔵メモリ搭載&最大約110時間のスタミナ®※再生が可能な「ウォークマン®※ケータイ W52S」などの個性的なモデルをはじめ、幅広いラインナップとなります。

また、「au design project」第7弾として、「INFOBAR2(インフォバーター)」を本年11月下旬以降、全国で順次発売いたします。初代「INFOBAR」の美しさや使いやすさを継承しつつ、「ワンセグ」やおサイフケータイ®などの最新機能や美しく鮮やかな映像が楽しめる2.6インチワイドQVGA有機ELディスプレイ等を搭載し、進化をとげたモデルとなっています。



※「ワンセグ」は社団法人デジタル放送推進協会の商標です。
 ※「EXILIM」はカシオ計算機株式会社の登録商標です。
 ※「スタミナ」「ウォークマン」「WALKMAN」ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

■ 料金サービス

基本使用料、いきなり半額!

誰でも割

本年9月より、2年間の継続契約を条件に、ご契約いただいた月のご利用分から、「CDMA 1X WIN」は基本使用料を半額に、また、「CDMA 1X」は「年割」+「家族割(法人割)」ご契約時の基本使用料の最大割引を適用する「誰でも割」をスタートいたしました。

法人のお客様向けには、小規模事業主のお客様の利用用途に合わせた料金ラインナップを拡充するため、2年間の継続利用を条件に、基本使用料が1,890円(税込)の「法人エコノミープランWIN」を本年8月より提供開始いたしました。

また、au携帯電話サービス(プリペイドサービス除く)に新規でご契約または機種変更等でau携帯電話をご購入いただく際、お客様のニーズに合わせて購入方法を選択いただける新料金プラン「au買い方セレクト」を本年11月12日より提供開始いたしました。

「au買い方セレクト」には、初期費用を抑えて携帯電話を購入したい、充実したサポートで快適に携帯電話を利用したいお客様のための「フルサポートコース」と、月々の利用料金を抑えたい、携帯電話をあまり買い替えないお客様のための「シンプルコース」をご用意しています。

■コンテンツサービス

au one

au携帯電話のインターネットサービス「EZweb」、PC向けのインターネット接続サービス「DION」、ケータイのためのPC

向けサイト「DUOGATE」のそれぞれのポータルサイトを統合し、ケータイとPCが一体化した新ポータルサイト「au one」を本年9月27日より提供開始いたしました。

また、新しいメールサービスとしてGoogle社との連携による「au one メール」の提供を開始いたしました。「au one メール」では、大容量（2GB）ストレージ機能などを無料でご利用いただけます。

また、ポータルブランドの統合に合わせ、PC向けのインターネット接続サービスブランドを「DION」から「au one net」に名称変更いたしました。

ワイヤレスブロードバンド

当社とインテル コーポレーション、東日本旅客鉄道株式会社、京セラ株式会社、株式会社大和証券グループ本社及び株式会社三菱東京UFJ銀行は、本年9月18日、モバイルWiMAX技術を用いた2.5GHz広帯域移動無線アクセスシステム（BWA）の特定基地局開設計画の認定（以下、「事業免許」）取得を目的に設立した「ワイヤレスブロードバンド企画株式会社」への出資及び、事業免許付与後のワイヤレスブロードバンド事業運営において協力することに合意いたしました。

■ひかりone(FTTH)



本年1月に東京電力株式会社のFTTHと事業統合し拡販に努めてきました「ひかりone」のご契約数が、本年9月末時点において668千契約となりました。

■メタルプラス・ケーブルテレビとの提携サービス



「メタルプラス」のご契約数が、本年9月末時点で3,172千契約となりました。また、ケーブルテレビ会社のネットワークとKDDIのCDN※を利用した電話サービス「ケーブルプラス電話」について、本年9月末時点で提携ケーブルテレビ会社が30社となりました。

※Contents Delivery Networkの略。IP技術、大容量回線等を活用し、映像・音声等の配信に適したコンテンツ配信網です。

■コンテンツサービス

映画やアニメなどの映像コンテンツを、世界で初めてCPRM技術※を利用してパソコンのDVDドライブ内のDVD-RWディスクに書き込むことができ、市販DVDと同等の高画質・高音質な映像コンテンツが購入できるセルDVD映像配信サービス「DVD Burning」を本年9月27日より提供開始いたしました。

※CPRM技術とは、市販のDVDに採用されている暗号化強度を高める著作権保護技術です。

■ネットワークソリューション

日経コミュニケーション企業ネット実態調査において、2007年の広域イーサネット部門でKDDI Powered Ethernet サービスが旧パワードコムから6年連続で利用率首位を獲得いたしました。

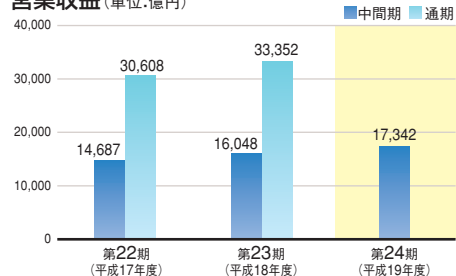
また、日経コンピュータ顧客満足度調査ネットワークサービス（新型）部門においてはKDDI Powered EthernetやKDDI IP-VPNをはじめとする当社のVPNサービスが顧客満足度1位を獲得いたしました。

中間連結損益計算書(要旨)

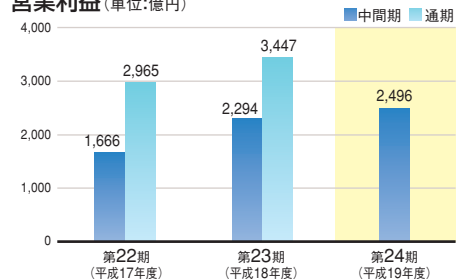
(単位:百万円)

区分	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業収益	1,604,834	1,734,266
営業費用	1,375,373	1,484,658
営業利益	229,461	249,607
営業外収益	8,103	9,786
営業外費用	10,282	6,982
経常利益	227,281	252,410
特別利益	352	209
特別損失	250	—
税金等調整前中間純利益	227,384	252,619
法人税、住民税及び事業税	84,823	90,185
法人税等調整額	4,414	14,544
少数株主利益	2,115	2,150
中間純利益	136,031	145,738

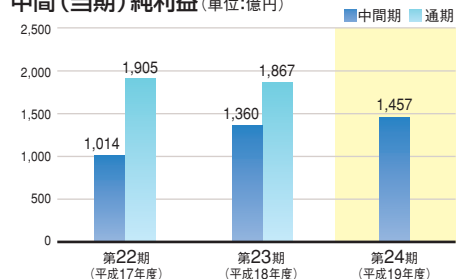
営業収益(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



中間(当期)純利益(単位:億円)

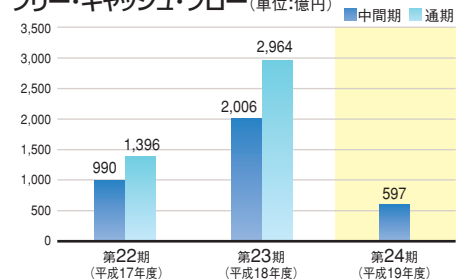


中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

区分	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,480	271,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,869	△211,391
フリー・キャッシュ・フロー	200,611	59,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,667	△81,530

フリー・キャッシュ・フロー(単位:億円)

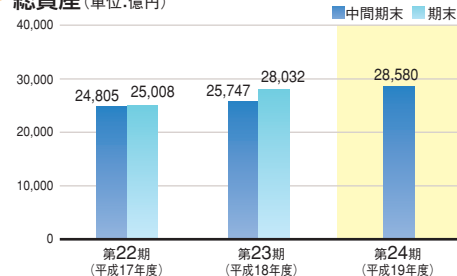


中間連結貸借対照表(要旨)

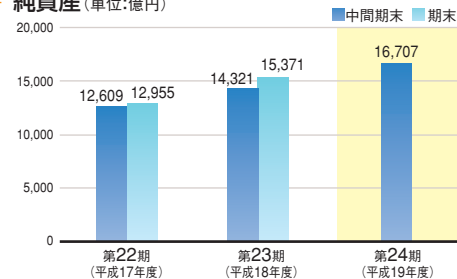
(単位：百万円)

区分	前期末 (平成19年3月31日現在)	当中間期末 (平成19年9月30日現在)
資産の部		
固定資産	2,068,671	2,130,457
電気通信事業固定資産	1,689,797	1,713,339
附帯事業固定資産	45,712	116,078
投資その他の資産	333,160	301,038
流動資産	734,569	727,640
資産合計	2,803,240	2,858,098
負債の部		
固定負債	431,559	375,707
流動負債	834,566	811,601
負債合計	1,266,126	1,187,309
純資産の部		
資本金	141,851	141,851
資本剰余金	367,271	367,272
利益剰余金	1,000,662	1,124,088
自己株式	△20,310	△20,550
その他有価証券評価差額金	22,322	21,209
為替換算調整勘定	4,466	4,667
新株予約権	136	277
少数株主持分	20,712	31,973
純資産合計	1,537,113	1,670,789
負債純資産合計	2,803,240	2,858,098
自己資本比率	54.1%	57.3%

総資産(単位:億円)



純資産(単位:億円)

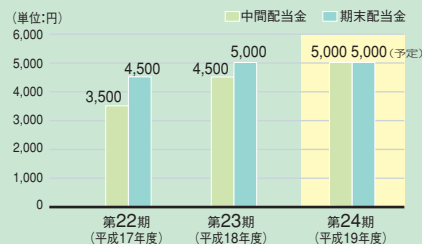


※第23期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しております。

配当金 (注)KDDI 株式会社単体の配当金 (単位：円)

	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
中間配当金	4,500	5,000
期末配当金	5,000	5,000(予定)
年間配当金	9,500	10,000(予定)

(単位:円)



(注)単位未満の金額は切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成19年9月30日現在)

- 商号 KDDI株式会社
- 創業 昭和59年6月1日
- 事業内容 電気通信事業
- 発行可能株式総数 7,000,000株
- 発行済株式総数 4,484,818.86株
- 株主数 92,296名

取締役及び監査役

代表取締役副会長	天野定功
代表取締役社長兼会長	小野寺功正
代表取締役執行役員副社長	中野伸彦
代表取締役執行役員副社長	伊藤恭彦
代表取締役執行役員副社長	長尾哲文
取締役執行役員専務	両角寛孝
取締役執行役員常務	田中誠司
取締役執行役員常務	高橋昇
取締役	中村碩久
取締役	奥田恒信
取締役	勝俣津夫
常勤監査役	米澤隆志
常勤監査役	大島進
常勤監査役	大石靖夫
監査役	明渡捷昭

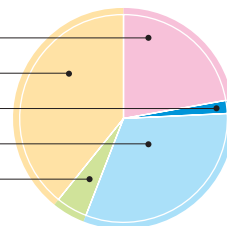
大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
京セラ株式会社	572,677.11	12.76
トヨタ自動車株式会社	497,488.80	11.09
東京電力株式会社	357,540.40	7.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	235,636.00	5.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	203,632.00	4.54
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	200,379.00	4.46
ザチエスマンハットタンバンクエヌエイロンドン	112,294.00	2.50
日本郵政公社共済組合	72,641.45	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	61,307.00	1.36
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505103	53,149.00	1.18

(注)上記のほか、当社は自己株式22,932.43株を保有しております。

所有者別分布状況

●金融機関	995,881.02株	22.21%
●その他の法人	1,759,863.82株	39.24%
●証券会社	90,823.03株	2.03%
●外国法人等	1,420,021.70株	31.66%
●個人・その他	218,229.29株	4.87%



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日
- 公告方法 電子公告 (URL <http://www.kddi.com/corporate/index.html>)
※事故その他により、やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(通話料無料) TEL. (0120)232-711 (名義書換、配当金等に関するお問い合わせ)
(通話料無料) TEL. (0120)244-479 (お手持用紙のご請求)

■同事務取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

上記のほか、以下の「投資家情報ホームページ」に詳細情報を掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

●投資家情報ホームページ <http://www.kddi.com/corporate/ir/index.html>

お問い合わせ：〒102-8460 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエアタワー
KDDI株式会社 TEL. (03)3347-0077

R100
2014年7月現在100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOY INK
この冊子はアメリカ大豆協会認定の大豆インクを使用しています。